

11月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

【自分の思いや考えの伝え方】

初めての運動会や展覧会に向けて、皆で協力して動くことや、自分の作品に思いをこめ、丁寧に作ることを全員が意識してきました。

展覧会では、ただ作るだけではなく、どんな場面を想像して描いたのか、誰に食べてほしいパフェなのか、どんな味なのか、など、自分だけのオリジナルストーリーを描きました。

そして、一人一人が作品紹介文を考え、兄弟鑑賞日には、見どころや工夫したところなどをペア学年の6年生に伝えました。学校公開では1年生全体で秋の素材を存分に活かしたお店屋さんを開催しました。どんなお店が考えられるか、どのお店になりたいか、どんな遊びができるか、お客さんにたくさん来てもらうにはどんな声掛けをすればよいか、たくさん並んでいたらどのように対応するのか・・・等々、友達と協力しながら企画・運営をしました。初めての経験で、難しい面もあったと思いますが、保護者の皆様にもたくさんサポートしていただきながら、無事に終えることができました。

お客さん、6年生、友達など、どの活動も、どのような言葉を使うと自分の考えが伝わるかなど、相手を意識して行動することができるようになりました。3学期も、友達と折り合いをつけながら、自分の思いをもって、皆と協力していく活動を取り入れていきます。



11月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

【 みんなで守ろう 公共マナー 】

生活科の学習で、24日（水）にJR東日本の職員の皆さんを講師に招き、マナー教室を行いました。職員の皆さんの仕事をクイズ形式で聞いたり、実際に機械操作や体験活動をしたりしながら、電車の乗り方や駅の利用マナーについて学びました。お礼の手紙を書く際には、「たくさんの方が電車を使っているので、迷惑になることや危ないことはしない。」「駆け込み乗車をしないように気をつけたい。」など、これから自分がどのように行動していくか考え、振り返りながら感謝の気持ちを伝えていました。



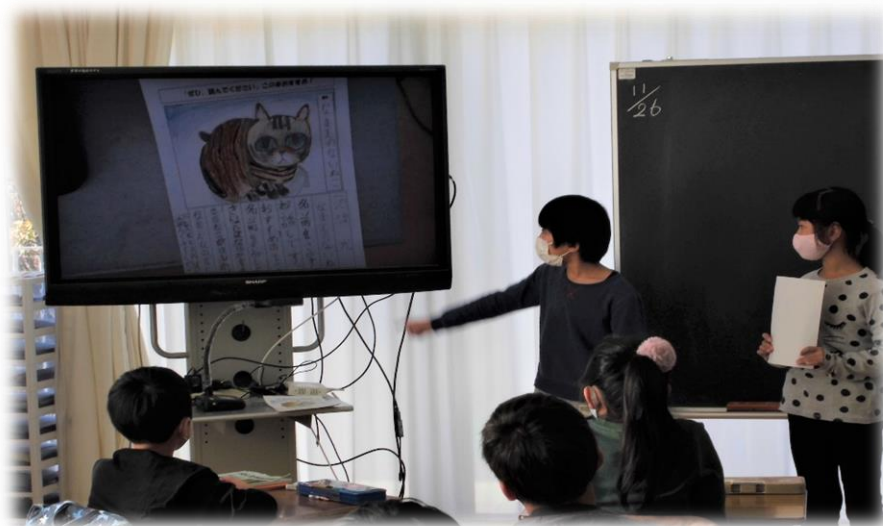
3年生

11月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

【読書旬間を活かした想像力・読解力の育成】

11月の読書旬間中、図書委員会が主催した「スタンプラリー」に積極的に取り組んで多くの本と触れ合うことができました。読書を通して、心を豊かにするだけでなく、様々な言葉を手がかりにして物語の世界を豊かに想像して読む力などを付けることができます。

3年生は、自分が友達に紹介したい本を「おすすめカード」にまとめ、学級で紹介しています。この活動を通して、さらに読書への意欲が高まってくれることを担任二人願っています。これらの活動を通して育んだ読解力が、学習・生活を問わず多くの場面で発揮される「思考力」へとつながるように、支援していきます。



11月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

【「なぜだろう？」を大切に】

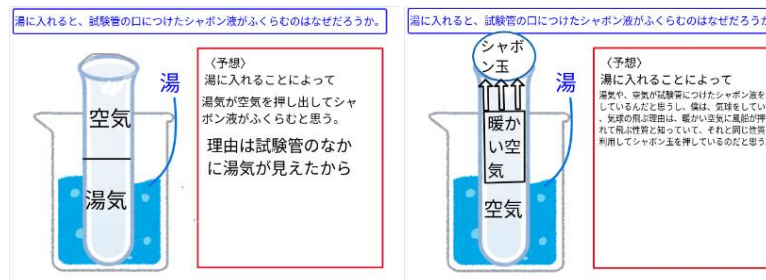
10月、11月と初めて理科室での実験を行いました。これまでも実験はしてきましたが、理科室でやると、より実験らしくなり、子どもたちも喜んで実験に取り組みました。

理科の学習で大切にしたいのは、「なぜだろう？」という子どもたちからの疑問です。今回、「ものの温度と体積」の学習では、「試験管の口にシャボン液をつけて、試験管をお湯につけるとどうなると思う？」と投げかけ、その後実験をしました。「わっ！膨らんだ！」「えー！」という声が聞こえてきました。でも「なぜ膨らむんだろう？」がスタートです。「なぜだろう？」が出てきたら、次は予想です。図に表したり、文に表したり、それぞれが自分の考えを書きます。予想するときは、すでに学習した内容から考えたり、生活経験から考えたり、子どもたちがもっている知識をフルに使って予想するので、大人が想像もしないような考えが出てきます。熱湯や火を使う実験は初めてなので、安全面の指導をしっかりとからの実験です。

「湯気がシャボン液を押し上げているのではないか」→「湯気は試験管の中には見えない」、「温まった空気は上に行くから膨らむのではないか」→

「試験管の口を下に向けても膨らむ」と、複数出てきた予想を一つずつ実験で確かめ、結果がそろったところで、最初の疑問に対する結論をまとめました。予想や自分の考えを書く時、子どもたちは、つい、間違わないようにと考えてしまいがちです。しかし、合っているか合っていないかではなく、この“考える過程”が大切で、子どもたちにもそのように話しています。自分でじっくり考えてから実験に取り組めば、予想があっても間違っても、子どもたちの中には残ります。

理科の時間に限らず、自分の考えを明確にすること、それを友達と伝え合うこと、友達と伝え合ったことでさらに考えることを大切に、日々指導しています。



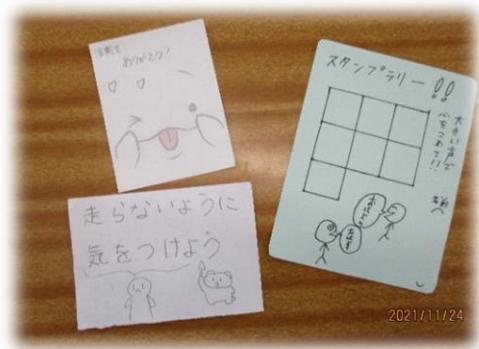
5年生

11月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

【よりよい学校生活のために】

国語科「よりよい学校生活のために」の学習では、自分たちのクラスをもっとよくするために現在の課題について話し合い、改善策を提案し、実践する活動を行いました。グループに分かれ、それぞれの課題や改善策、自分たちにできることについて真剣に考え、主体的に行動に移す姿は、まさに高学年！子どもたちの成長を感じました。どんな実践をしたか、ぜひお子さんに聞いてみてください。

また、自分だけでなく、クラス全体の平均点をUPさせるべく、各クラスで漢字50問テストの日程を話し合って決めました。2学期から漢字の学習方法を変えた成果か、10月に行った漢字50問テストの平均点が全クラス1学期よりUPしていました。学年末の50問テストもこの調子で頑張ってください！



6年生

11月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

【学習面や生活面で更なる成長を遂げた一か月】

11月は、日頃から子どもたちが丁寧に学習に取り組んできた成果が見えた1カ月間でした。特に算数の「比例・反比例」の学習では、問題を解くだけでなく、自分の考え方を言葉で表したり、仲間に伝えたりする活動を意識的に行いました。また、自分がノートを見返したときに何を学習し、どの問題でつまづいたが分かるように書くにはどうすれば良いかや、考えの過程を残しておく意味について考えられるように学習を進めてきました。小学校生活で学習する算数の中でも時間数が多い「比例・反比例」の学習で3クラス共に今まで以上の平均点をとることができました。

展覧会兄弟学級鑑賞では、1年生とペアになり展覧会の作品を鑑賞しました。お互いの作品を紹介したり、他学年の作品の良い所を伝え合ったりする姿が見られました。その中でも、多くの6年生が、目線を合わせるために1年生の作品の説明をしゃがみながら話を聞いたり、「次は何を見に行きたい？」と声をかけたりする姿から自然に相手を思いやる振る舞いができていることに成長を感じました。

2学期も残すところあと少しです。残りの日々も、最高学年として、学習面や生活面で全校を引っ張って行ってほしいです。



あおぞら学級

11月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

【あおぞらチャンネル】

今年度は、展覧会のギャラリートークが感染症対策のためになくなりました。その代わりに『あおぞらチャンネル』として、学級の友達や下級生が作った作品の紹介動画を作成しました。保護者の方にご協力いただいたアンケートをもとに5・6年生を中心に「何を誰に質問するか？」を考え、インタビューをしました。低学年も、高学年の質問に緊張しながらも答え、『あおぞらチャンネル』が完成しました。完成した『あおぞらチャンネル』を学校公開当日に披露しました。

